

別記

第42回黒潮オープン和歌山県障害者卓球選手権大会開催に関する留意事項

この留意事項は、和歌山県障害者スポーツ協会（以下「主催者」という。）が作成したものであり、第42回黒潮オープン和歌山県障害者卓球選手権大会の開催にあたり、主催者、選手、スタッフ、チーム関係者等（以下「関係者」という。）全員が遵守する事項を定めるものである。

事前の体調管理及び参加条件について

- 関係者は、大会前の体調管理に細心の注意を払うこと。
- 大会開催日（12月3日）6日前の11月27日（月）以降に新型コロナウイルス感染症に感染した者は、大会に参加できない。
- 11月26日（日）以前に新型コロナウイルス感染所に感染した者で、12月2日（土）午前9時までに症状が軽快していない者は、大会に参加できない。
- 11月27日（月）以降に発熱（37.5℃以上）、咳、咽頭痛など体調不良を発症した者はPCR検査を受検し、検査結果が陰性であった場合に限り大会に参加することができる。（その場合の検査費用は自己負担とする。）
- 11月26日（日）以前に体調不良を発症した者で、12月2日（土）午前9時までに症状が軽快していない者は、大会に参加できない。
ただし、PCR検査を受検し結果が陰性かつ3日の関係者招集時間までに症状が軽快した場合は、参加することができる。
- 11月27日（月）以降に発熱、咳、咽頭痛など体調不良の症状があるもの又は新型コロナウイルス感染症に罹患した者と、家庭、職場、学校などで緊密に接触した場合は、PCR検査を受検し、結果が陰性であった場合に限り大会に参加することができる。（その場合の検査費用は自己負担とする。）

厚生労働省【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について】

- 特に発症後5日間で他人に感染させるリスクが高いことから、発症日を0日目（無症状の場合は検体採取日を0日目）として5日間は外出を控えること
- 5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え様子を見ることを推奨

当日の体調管理

- 体調に少しでも異変（特に、発熱、咳、咽頭通などの症状がある場合）があれば参加を控える。
- 感染者との濃厚接触がある、感染の疑われる者が身近にいる場合（同居家族、職場の同僚、身近な知人などに注意）は参加を控える。
- 受付時には、関係者や介助者、観覧者全員へ当日検温測定と、直近 1 週間の体調確認をする。
- 大会中に体調に少しでも異変を感じた場合は、直ちに競技を取りやめスタッフに申し出ること。

大会中の感染予防対策

- 活動前、活動中、活動後の手洗い・手指及び利用器具の消毒を徹底する。
 - 会場滞在中は必ずマスクを着用すること（試合中は除く）。ただし、息苦しさを感じた場合は他の選手やスタッフなどと距離を取ったうえでマスクを外し、休憩を取るなど無理をしない。
 - マスクを着用していないときは、他の選手やスタッフとの距離を少なくとも 1 m 以上保ち、不要な私語や大声での会話など感染リスクが増加する行動は控える。
- また、強度が高い運動を行った後は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。
- 競技用具等の共用後は、手指消毒や用具等の消毒を必ず行うこと。
 - 関係者間などでの身体接触は極力避ける。
 - 飲み物、タオル等は他人と共有しない。
 - 運動中に、唾や痰を吐かない。
 - 更衣室等狭小な空間では、速やかに着替えて退室する等滞在時間は最小限に留める。
 - 介助者や観覧者は原則 2 階にて観戦をする。ただし、車いす利用者等については、1 階にて観戦可とする。
 - 介助者や観覧者は大声で声援を送ったり、会話をする時には、マスクを着用すること。

その他の感染予防対策

- 大会後において、感染が判明、または大会以前に感染者や濃厚接触者等との接触があったことが判明した場合は、速やかに主催者に連絡すること。
- 昼食時も距離を取り、黙食すること。
- 大会終了後は速やかに帰宅すること。
- 普段から感染リスクの高い行動は控えること。
- 会場到着後及び会場出発前に、必ず、うがい、手洗い、手指消毒等を行うこと。
- 受付では距離をおいて並び、必ずマスクを着用すること。
- 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー、ロッカーの取手、椅子など）に触れた後など、こまめに手指消毒を行うこと。
- 休憩時も、必ずマスクを着用するとともに、他のスタッフや選手との距離に注意すること。